

TCC2026の概要

本選（10/17・18 茅野市民館）

1チーム5名×8チームでトーナメント選

撮影開始を早め(17日10時開始) 撮影終了を遅く(18日10時終了) して午後から競技
観客ジャッジを一部ゲームに導入

予選を2回開催し、どちらもオンライン開催 YouTubeライブ配信（会場参観可）

一次予選（6/13）：応募チームから16チームを選出

TCC2025同様、作品を点数評価してチーム平均点で順位づけ

二次予選（7/11）：一次予選通過16チームから8チームを選出

TCC本選同様、チーム対抗選

リーグ選ではなく一次予選の順位にしたがって2マッチ対抗

提出作品にテーマ縛りを導入

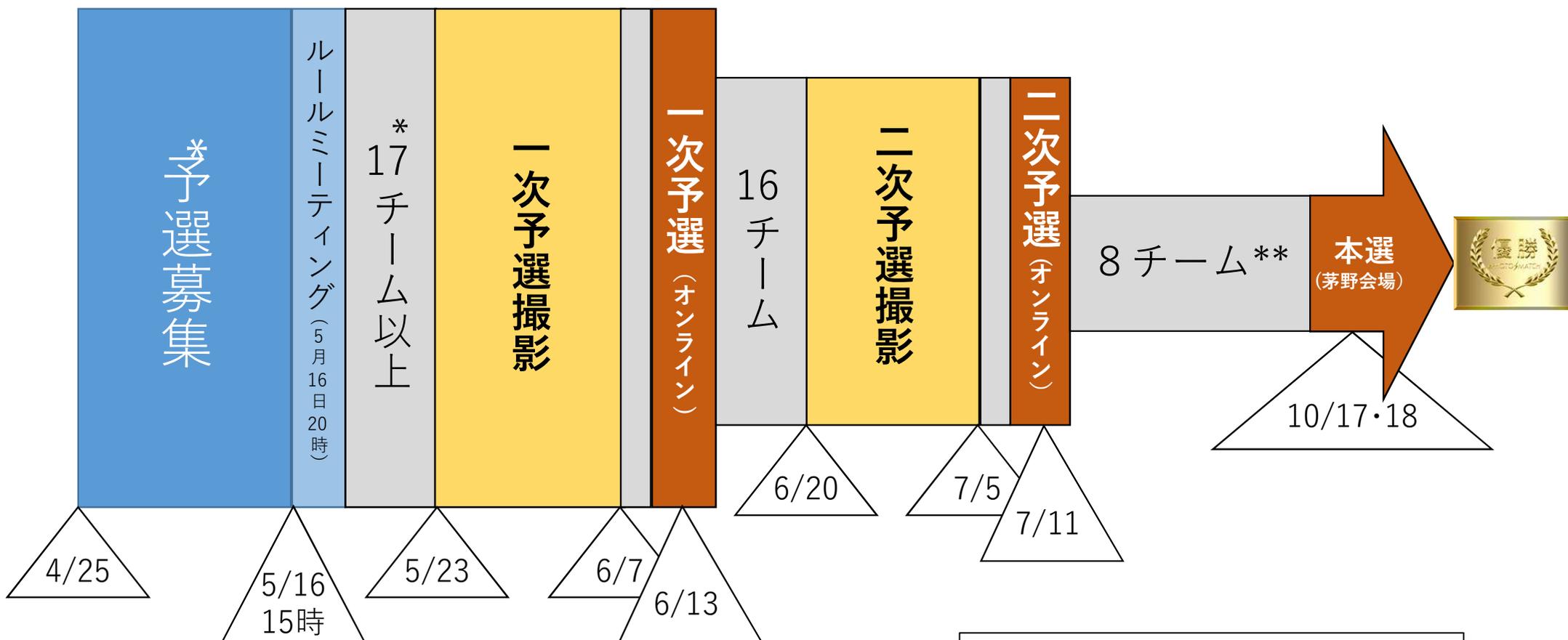
※昨年優勝チームは一次・二次予選免除

予選会場：Leofoto/Summit Creative ショールーム(埼玉県西川口)

1チーム5名 作品の審査基準（発見力・構成力・技術力）は予選・本選とも共通です。

主催：風景写真出版・日本写真企画
準備・運営：日本学生写真部連盟

日程の概要



*予選募集は20チーム程度を限度とします。
応募状況により早期に募集を締め切ることがあります。

**昨年優勝チームは一次・二次予選とも免除とします。したがって昨年優勝チームが参加する場合、二次予選通過チームは7チームとなります。

審査基準

観点	内容
発見力	魅力的な被写体を見つける力、被写体を見極める力、被写体への着眼点は秀逸か。
構成力	構図（何をどこに置くか）や、フレーミング（どの範囲を撮るか）により、撮影者がその場で抱いた感動を伝えることができているか。
技術力	適正な知識や技量に基づいて機材を扱い、風景を捉えているか。

発見力、構成力、技術力の3つの観点には優先順位を設けず、ジャッジが判定で重要視した観点を挙げ、講評のなかで説明する。

作品の条件

	作品の条件	不可の例	可の例
予選・本選 共通事項	デジカメで撮影すること	スマホやタブレット端末での撮影	コンパクトデジカメでの撮影
	空撮ではないこと	ドローンや航空機上からの撮影	
	複数の場面を合成していないこと		構図や撮影範囲を変えずに撮った多重露光 比較明合成、比較暗合成、被写界深度合成
	演出していないこと	人物や撮影者の飼育動物を配した撮影 被写体の移動や加工 予め現場に無かった自然物や小道具の持込 撮影者が制御できる光源や反射物の持込	街灯や建築物の照明光 車両、船舶、航空機など交通機関から発する照明光 撮影者および関係者以外の人物の所持品等
	光源およびレフ板は1個まで		これらの位置はカメラを起点とした手持ち範囲内
	提出作品はJPEGのみ		
	Exif情報を付帯していること		通常は付帯されている
予選のみ	未発表作であること	写真展で展示された作品 インターネット上で公開中の作品 印刷媒体に掲載された作品	
本選のみ	撮影後の画像に加工や変更をしていないこと	例：カメラ内RAW現像、カメラ内トリミング、PCでのレタッチやトリミングや現像	撮影前にカメラで設定できる事項 例：アスペクト比設定、クロップ設定、色温度設定、色調設定、色選択設定、コントラスト設定、カメラ内蔵フィルター設定
	ノートリミング、フルフレームで撮影されていること		